

## [050] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10222>

---

出版情報：語文研究. 50, 1980-12-01. 九州大学国語国文学会  
バージョン：  
権利関係：

## 編集後記

本誌もこれで五十号を数えました。はやくもというべきか、ようやくというべきかは、読者諸賢の御感想におまかせすると、本号には迫野氏に華々しく帰って戴いたのを始め、津田氏の続稿ほか院生三名の新鮮な論文を掲載し、さらに会員三氏の御新著を紹介することが出来ましたのは、編集部としては、何とか一つの節目を乗り越えた感あり、御同慶にたえません。という口の下から、あらためて本号より誌代を七五〇円に値上げする旨の御通知を申上げねばならぬのは、心苦しいことではありますが致し方の無いことでもあります。宜しく御賢察下さい。

尚、本年度より会の事業として「在九州国文資料影印叢書」第二期の編纂にとりかゝっておりますが、会員諸氏の御尽力により、来年三月末に刊行出来る見通しとなりましたので、内容細目及び振替用紙を同封致しました。本叢書は、昨今の影印資料の刊行が余りに豪華且つ高価になりすぎる傾向に対して、一つの姿勢を示したつもりであります。何卒よろしく御支援賜わりたく存じます。

次号締切は昭和五十六年一月末日です。(中野記)

昭和五十六年度九州大学国語国文学会総会

並びに研究発表会のお知らせ

日時 昭和五十六年六月七日(日)

場所 九州大学文学部

※研究発表希望の方は発表題目を明記のうえ、本会宛、昭和五十六年五月十日までにお申込み下さい。

## 執筆者紹介

迫野 虔徳	九州大学文学部助教
田中 潤子	九州大学大学院(修士課程)
山 泉 浩	九州大学大学院(修士課程)
津田 修造	鹿児島県立鶴丸高校教諭
飯倉 洋一	九州大学大学院(修士課程)
添田 建治郎	山口大学人文学部助教
辛島 正雄	九州大学大学院(博士課程)
狩野 啓子	筑紫女学園短期大学助教

## 規 定

- 一、投稿は原則として九州大学国語国文学会会員に限るがそれ以外の方に投稿を依頼することもある。
- 二、投稿原稿は四百字詰原稿用紙三〇枚内外を一応の規定としその際、二枚程度の要旨を添付されたい。
- 三、原稿の採否等については運営編集委員会に一任されたい。
- 四、刊行は年二回(春・秋)を原則とする。
- 五、刊行会費は現在年額維持会員三千円(各号二部配布)、通常会員千五百円(各号一部配布)とする。
- 六、執筆者には別に二部を贈呈し、希望者には抜刷を実費で分ける。
- 七、会員以外の購読者は毎号ごと誌代を納められたい。